

2017年 1月24日 12:30~18:30 於/地域交流研究センター

TUW 郡内織物手織り体験会〔協力企業の紹介〕

1. 谷村織物工業協同組合

- 時代とともに織物産業も「郡内縞グンナイジマ」⇒「海気カイキ」⇒「甲斐絹カイキ」⇒「八端織ハッタンオリ」⇒「甲州織コウシユウオリ」と変わってきました。谷村織物工業組合は、現在の技術を残しつつ新たに高品質の製品を提供し、より豊かな生活を営むお手伝いをしています。「都留の織物」、霊峰富士の恩恵を受け育まれた甲斐絹、長い伝統と技術力は現在にしっかり受け継がれております。 <http://www.shokokai-yamanashi.or.jp/~tsuru/yamuraorikyoo/index.html>

2. 大月織物工業協同組合連合会

- 大月と織物 当地域は、明治29年甲斐絹業組合を創設し、織物関係者の斯業の発展に寄与していましたが、明治36年2月中央線の開通以来、広里村大月は交通繁華の街となり、織物査定所、織物検査所などが設置され、隣接町村を結ぶ織物取引の集散地となり、郡下屈指の織物産業の中心地でありました。明治38年に甲斐絹同業組合、昭和14年に大月絹人織物工業組合、昭和19年に山梨県織物統制組合大月支部と変遷をたどり、大月織物協同組合は昭和22年設立しピーク時には、工場数1,388 織機台数5,803でありました。しかし、その数は年々減少してはおりますが、伝統産業として運営を続けております。織物製品として、ネクタイ地、座布団地、マフラー、ストール、服裏地、婦人服地などが生産されております。 <http://www.otsuki-orikyoo.com/>

3. 大月織物研究会

- この地域の伝統産業「郡内織」の素晴らしさを知ってもらうため「手織り体験教室」を実施しております。「見て」「触れて」「体験して」そして「楽しんで」いただき、郡内織の魅力と素晴らしさを感じてもらえたらと思います。今日において郡内織は最盛期に比べると大きく規模が縮小してしまいました。そんな中でこれまでと違った手織りというスタイルが注目を浴びております。普段流通の大多数を占めている大量生産の機械織りとは異なり、手織りは自分の好みに合わせて自由な発想で織ることが出来るという長所を持ち、その可能性の大きさはコースターやランチョンマットなどの小物、装飾品からストールや上着などの大きなものまでに及びます。その特徴が子どもから年配の方まで幅広く好まれており、特に子どもたちには地元の伝統産業に触れる良いきっかけづくりの場となっております。子どもたちが自由な発想で創り出す織物は大人たちが普段思いつかないようなデザインもあり新しい織物のかたちとなっております。何よりも手織りの暖かさと、自分だけのオリジナルな織物を是非一度体験してみてください。皆様のご参加をお待ちしております。 <http://www.otsuki-orikyoo.com/teori/>

4. 高部織維〔都留市〕

- 甲斐絹の伝統を活かしたハンドバッグ、ポーチなどを製造しています。

5. 有限会社 エルモード〔都留市〕

- 甲斐絹の伝統を活かしたスカーフ、ストールなどを製造しています。

6. 有限会社 遠山〔都留市〕

- 甲斐絹の伝統を活かした座布団地などを製造しています。

7. 有限会社 リード〔都留市〕

- 甲斐絹の伝統を活かしたネクタイを製造しています。

8. 天野商店〔都留市〕

- 伝統技法の「ほぐし織り」による傘生地を製造しています。

9. 鈴木織物〔大月市〕

- 伝統技法の和風小物生地、ネクタイを製造しています。

10. ツタキ織物〔大月市〕

- ツタキ織物デザイン工房部門では、織機5台でネクタイとストールなどの首周りの製品を製造しています。1947年創業以来、座布団からネクタイ、ストールとOEM生産のもと、顧客であるメーカーの厳しい要求に応えながらも、常に「新しい物作り」に挑戦して参りました。そして、2003年より、長きにわたるOEM生産と長男である私のネクタイメーカーでの就業経験により培ったノウハウを最大限に活用し、自社ブランドを立ち上げました。近年のファストファッション流行の傍らには、本物を志向する方々が必ずいらっしゃる。そして、それらの方々に満足を提供することこそわたしの社会的使命であると考え、生地から自社で製造し、真剣に物づくりに取り組んでおります。店頭に並ぶ私の製品は、全力で取り組んで作り上げた作品でもあります。是非、当社の製品を実感してください。 <http://www.tsutaki-orimono.com/>